

みかんの皮で石鹼づくり

山本燦志朗 大塚空 濱田賢吾
笹岡蒼甫 川添祥之介 指導者：児玉泰廣

1. 研究目的

愛媛県ではみかんの皮や葉がよく捨てられており、それらを何か使えるものにできないかと考えた。また、昨年からの研究を継続して行う。

昨年度はみかんの葉を利用したが、香りの観点から、本年度は、みかんの皮はどうかと思い、みかんの皮を使用した石鹼づくりを開始した。

(昨年度から今年度の実験までの過程)

みかんの葉に着目

葉の吟味

葉を乾燥させて匂い選び

葉っぱでの実験断念

企業依頼(サービス創造大賞に投稿)

透明な石鹼づくり

2. 実験内容

準備物

- ・みかんの皮
- ・すり鉢
- ・電子レンジ
- ・石鹼素地
- ・パッキン
- ・水

1. みかんの皮の白い部分を取り除く
スプーンを使い皮の裏にある白い部分を取り除く（その後の作業が効率よくなるため）。

2. みかんの皮をすりつぶす
みかんの皮を用意し、すり鉢を用いて粉にする（今回はみかん5個利用）。



3. みかんの皮を乾燥させる
すりつぶしたみかんの皮を電子レンジで1分間ずつ確認しながら計10分乾燥。



4. 乾燥させたみかんの皮を石鹼素地と混ぜる

皮2g、石鹼素地40g、水10mlの割合で完全に混ざるまでこねる。

5. 混ぜたものをパッキンに入れ成型する

パッキンに入れ、あふれないように整えていく。自然乾燥と冷蔵庫で水分を飛ばし、いくつかをまとめて成型する。今回は2個分の石鹼が完成。



3. 実験結果（まとめ）

みかんの皮だけでは香りが弱く、石鹼素地本来の香りが強いという結果になった。

そして、表面がゴツゴツしてしまい触り心地が悪かった。

使い心地は、石鹼としての役割は果たしたが、使っていく中で形が崩れやすく、製品としてはまだまだであると感じた。



4. 今後の課題

次回制作する際には水ではなくお湯を使うことで、ムラがない表面が滑らかになるものにする可以考虑している。加えて、みかんの皮だけの香りがつけは難しかったため香油などを用いる必要がある。

企業に協力を依頼して制作していくことも可能性の1つだ。